

働き方改革の手助けを！


ECRS(イクルス)ってご存知でしょうか？



9月に入りました。早いもので今年も残すところあと4ヶ月です。さて、近年、社会情勢のさまざまな変化もあり、働き方改革がいつそう注目されています。働き方改革を実現して成果をあげるためには、無駄なタスクを減らして生産性を高める、つまり、業務を見直して改善したり、効率化をしていく必要があります。そこで、今回はすぐにも取り組みそうな業務改善のフレームワークである「ECRS」についてご紹介いたします。もし、なにかのご参考になれば幸いです。

✓ ECRS(イクルス)とは

ECRS(イクルス)とは、業務効率化のフレームワークであり、それは4つのステップから成り立つ考え方です。

- 
- ① **E**liminate(排除): 不要な業務を捨てられないか？
 - ② **C**ombine(結合と分離): 類似した仕事を一緒にできないか？ 違う仕事は分けられないか？
 - ③ **R**earrange(交換): 作業をあるべき流れに入れ替えられないか？
 - ④ **S**implify(簡素化): 単純化できないか？

業務プロセスを見渡す際のチェックポイントとして役立ち、4段階の改善手法で本当にやるべきことを導き出すことができます。元々は生産工程を効率化するために使われることが多かったですが、日々の業務でも応用できます。では、順番に詳しく見ていきましょう。



① Eliminate(排除)

業務の改善を考える場合に、まず最初に検討すべきことが「Eliminate(排除)」だとされています。

ここでの目的は、業務の必要性を見極めることです。業務でのムダを洗い出し、排除を検討していきましょう。

たとえば、業務上で重複する成果物や作業レベルをなくすことができれば、コストも手間もかからず効率化が可能となります。

生産工程であれば、不要な工程がないか洗い出すことができます。日常業務についても同様です。形だけの会議や、無駄な報告業務はないでしょうか。それらを洗い出し、排除していきましょう。

② Combine(結合と分離)

次に検討すべきことが「Combine(結合と分離)」です。類似した業務を一緒にすることで必要な設備や備品、人員も削減できます。また、質の異なった業務を同じ人が行っている場合は、別の人へ業務を分離し、類似性の高い仕事を合わせることでより効率的な業務が期待できます。



③Rearrange(入れ替え、代替)

次に検討すべきことは「Rearrange(入れ替え、代替)」です。作業の順序や場所、担当者の入れ替え等を変更し、一番効率の良い流れに並べ替え、仕事の再設計をすることを指します。こちらを行うことで、一部の業務削減や、準備作業、付随作業の効率化が可能となります。

④Simplify(簡素化)

①～③を検討後は、最後に「Simplify(簡素化)」の検討です。今まで行ってきた業務の実態を測定・分析し、さらに簡素化できる部分はないかを探します。また、業務改善に有効である新たなツールやシステムの導入を検討することも可能です。あるべき姿を設計し、導入する場面です。

✔ 今すぐできる！ ECRS(イクルス)の簡単な例

身近な「デスク整理」を ECRS の法則に基づき、改善してみたいと思います。



- ① E: 捨ててもいいものはゴミ箱に捨てる
- ② C: ペン、書類、本、など種類ごとに仕分けする
- ③ R: Cで仕分けしたものを各場所に片付ける(場所を決める)
- ④ S: よく使用するものは机の上など取りやすい場所に、それ以外のものは引き出しの奥にしまう

みなさん、無意識でやっていることかもしれませんが、ECRS の法則に沿って整理することで使いやすく、しまいやすいデスクに変化していることになるわけです。このような考え方で日々の業務の無駄取りをし、改善していきます。

ご存知の通り、日本の人口は減少の一方であり、企業にとって今後ますます人材の確保は難しくなるといわれております。人材不足の余波がよりいっそう押し寄せる前に ECRS を実施し無駄を省いて、少ない人数でも効率よく業務が回るよう、将来に対して準備しておくこともできそうですね。いろいろなところで応用できる「ECRS」でより働きやすい環境を作っていきたいですね。

